

「主体的なチーム作り」

～チームで働く力を身につけ、主体的にチーム作りに取り組みましょう～

受講者お一人おひとりが、自分の個性や能力を発揮しながら、チーム目標の達成やチームの活性化に向けて取り組んでいけるよう、法人全体で応援します。

入職3年目の職員が、チームに働きかけるための基本的知識を学び、後輩・先輩をサポートしたり、チームのコミュニケーション活性化に繋げられる行動を取るための自己課題を見出すことを目的に開催しました。

■開催日時：①7月2日（水）14：30～16：30 ②7月16日（水）14：30～16：30

■受講者数：194名

助産師2,看護師101,診療放射線技師1,臨床検査技師9,薬剤師5,管理栄養士5,理学療法士29,
作業療法士13,社会福祉士4,介護福祉士2,臨床工学技士5,救急救命士1,言語聴覚士4,准看護師1,
診療情報管理士2,事務職10



研修内容



1. グループとチームの違い
2. チームで働く力（新社会人基礎力より）
3. チームが機能するためのプロセス
4. チームを活性化するための要素
5. 明日からできることを考えよう



講師のご紹介

医療法人協和会
川西市立総合医療センター
理学療法科 科長
吉田 由喜氏



受講者の感想（アンケートより）

- ・自分の思いを、ただ話す、伝えるのではなく、相手に伝わるように発信することが大切。
- ・他者と意見が異なった際、考えに至ったプロセスを話してもらうことで意見を理解しやすくなったと思った。
- ・チームで働く上で個々人の主体性や互いの考えを尊重できる事が大切になると学ぶ事ができた。
- ・後輩の指導者として後輩に近い存在なので、話かけやすい環境を意識し「心理的に安全な職場」を作る。
- ・上司の立場、後輩の立場、どちらも分かる立場だからこそ、架け橋になれるようになりたい。
- ・それぞれの専門職で学んできた、培ってきた価値感があることがわかったので、他部署の話をきちんと聞き、自分では気づかない視点に気づけるよう努力する。
- ・ワーク体験で少人数から大人数になることで話しあいの質があがり、少数では思いつかない意見交換ができた。
- ・良質な医療提供のために、自分の強みである探求心を活かして、患者に還元していく。

